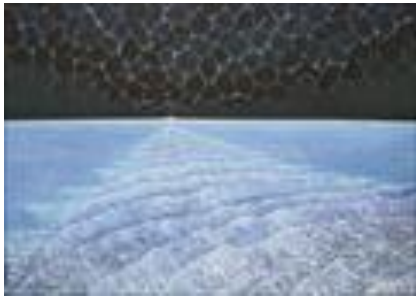


美術の窓



前田重昭「空海」



岡本繁夫「裏街(尾道)」



千木良宣行「霞川の桜」



万年山えつ子「兄亡き日」



石原修「黄昏爽風」



原専二「老いる 鞆の街並み」

全日本美術(掲載文のまま)

中尾不二夫を中心に、新洋画会として1978年に発足した比較的若い会だが、85年に新日本美術協会に改称。日本画、洋画、工芸の三部門で200数十名が集う会になっている。今回の総展示数は268点。

中尾不二夫会長「山と空と」は燃えるような夕景の空。森屋治三は朝風の澄みきった磯辺の水と空気を描いた。人物作品に定評ある陳俱子「メモリー・旅立ちの日」、小高峯夫は田園シリーズ2題。緑の鮮やかさが際立つ。小宮山修は流水の観察描写にすぐれ、東京都議会議長賞受賞。一柳幸の作品は、マーラーの曲(第8曲:塔の中の囚人の歌)に因んだ風景か。文部科学大臣賞は早田美智子、新日美大賞は鈴木忠義(9面にカラー)。

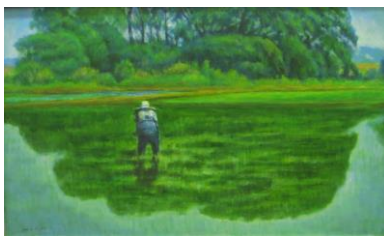
割愛写真 鈴木忠義「富士、日本人の心Ⅱ」



森屋治三「朝風の浜」



陳俱子「メモリー旅立ちの日」



小高峯夫「田園初夏2」



小宮山修「河流」



一柳幸「マーラー・アンコール 子供の不思議な角笛の第1曲」

京都巡回展情報

第三十八回新日美展京都巡回展は平成二十七年三月二十五日(水)〜二十九日(日)京都府京都文化博物館にて開催いたします。

会場となる京都文化博物館(交通の便がよく素晴らしい建物)の使用許可申請も済ませ、京都府・京都市両教育委員会、京都新聞社の後援許可の承認も取り付け準備を進めております。展示作品は三十八回新日美展より選抜した絵画76点、工芸28点計104点です。

新日美が巡回展を開催することはとても重要なことです。公募展を行う団体としてその意義は大きいものと考えます。現在隔年実施しておりますが、過去には香川支部と連携して「新日美高松展」や韓国以形会と連携しての「国際交流、日韓展」などの実績があります。

現在巡回展のハガキ印刷を終え出品目録の印刷に入っています。

懇親会は二十四日搬入後左記にて実施します。

日時 三月二十四日(火)午後四時三十分より

会場 がんこ二条苑(京都府京都市中央区木屋町通二条下ル東生洲町四八四一六)

宿泊について 京都での宿泊について希望される方はご連絡ください。

宿泊ホテル ホテルギンモンド京都 京都市中央区御池通り高倉西入

連絡先 事務局又は本部担当小宮山委員、土屋委員、京都支部飯村委員

のいずれかへ電話して下さい。

会員の皆様 京都は丁度桜の花が開く季節であり旅行がてら、是非会場にも足を運ばれてはいかがでしょうか。

特に関西方面、近畿地方会員の皆様は友人、知人親戚等にも是非ご高覧賜ります様ご案内して頂ければと思います。

巡回展実行委員長 小宮山修